2020年（令和２年）1月１日
くげぬま探求クラブ

会報　くぐひ

第100号（正月号）

◇　くぐひ（鵠）は白鳥の古い呼び名。鵠沼には昔たくさんの白鳥が飛来したことによる　◇

新年を迎えて

くぐひ編集長　塩川 昌男

あけましておめでとうございます。

昨年は元号の改定、台風による風水害など多くの出来事がありました。また本年は東京オリンピックの開催で海外から多くの人の来日が予想されており、当地でもセーリング競技が予定され、地元でも例年とは異なった賑わいになることと思います。

くげぬま探求クラブは一昨年設立25周年を迎え、創立記念祝賀会や公民館再生・修理・清掃活動、くぐひ特別号の発行など様々なイベントを実施してきました。当クラブは設立の初期から季刊の会誌「くぐひ」を発行し、本号で第 100 号になりました。現在会員総数は 55 名ですが、入会後の在籍期間が 10 年以上の会員が 4 割ほどおります。無報酬で、しかも会費を納めつつ長期にわたり積極的に活動を続ける状況を考えると、当クラブにはよほど魅力があるのでしょうか。

各会員は自身の特技や好みに合わせてそれぞれの部会活動に参加しています。そのなかで「絵が良く描けた」「うまく歌えた」「良い俳句が出来た」「故障のおもちゃを上手に治せた」「立派なサツマイモが採れた」「公園がきれいになった」など創意工夫を通じて自己表現し、小さな達成感を日々味わっています。また、地元には幼稚園児から老人まで私たちの活動を喜んでくれている人たちが大勢います。このようなことが会員たちの励みになっているものと思います。

当クラブの過去１年間の新入会員は10名おります。入会直後は先輩会員との面識もなく、話し相手が少ない時期もあるでしょうが、さまざまなイベントに参加することを通じて徐々に気心が知れてくると、クラブの様子も違った景色に見えてくると思います。

会報「くぐひ」はクラブ内で起きている楽しい事、参考になる事などを会員にお知らせする季刊誌です。クラブの「ホームページ」とともに参考にして頂き、ご自身の楽しい居場所、活躍の場所を積極的に見つけて頂ければと思います。くぐひ第 101 号以降についても充実した誌面作りに努めていきたいと思いますのでご協力をお願いします。なお本号には歴代の編集長に「くぐひ第 100 号によせて」と題して執筆して頂いておりますので会報の移り変わりを感じることが出来ると思います。

忘年会　(於)鵠沼藤が谷市民の家　2019 年 12 月 21 日

第 43 回公民館まつり報告

世話人代表　奥村 誠

今年の公民館まつりは開始前にはお天気が不安定で雨にならないかと、やきもきさせられましたが、初日の朝までに雨があがり、まずまずの人出になりました。

おかげで「手作りおもちゃ」や、「焼きいも販売」、「古本市」の販売、「鵠っ子囲碁・将棋ルーム」の賑わい等は例年並みの成果、災害展示の集客は昨年以上でした。

また、「芸能音楽祭」への出演、事前の準備作業、事後の片付け作業にも多数のクラブ員が活躍し、今年も探求クラブは公民館まつりの成功に大きく寄与できたのではないかと思います。

この成果の背景には、かなり体力が必要な作業もありましたが、それにも増して義務感ではなく自発的に奉仕する事に喜びを感じ活動するクラブ員の心意気が支えになったのではないでしょうか。

古本市
良い本がいい人に

磯川 道夫

今年の古本市に集まった本は 10, 5 12 冊。そのうち 5, 037 冊が売れ、5, 475 冊が残った。約 48%が売れた。古本市は本の寄贈受付から、整理、販売、後片付けと我々老体の身には重労働である。それなのに受け付け、整理、販売に延べ 143 名、最後の後片付けには手の空いているメンバーが全員参加で手伝ってくれた。皆さんの献身的なお力添えには感謝のほかありません。

集まった本の中に夏目漱石全集（全 29 巻）があった。白いきれいな箱に入った新品同様のもので、ひときわ目立っていた。「こんなきれいな全集をだれか買ってくれるのだろうか」と言うのが販売担当者の一致した意見だった。全集は二日目の午後になっても買う人はいなかった。

しかし、古本市が終わりに近づいたころ、白髪のご老人が販売担当者に問いかけてこられた。「買いたい」とおっしゃる。そして精算を済まされると「自転車をとってくる」といって 30 分ほどで戻ってこられた。担当者が自転車のあるところまで台車で運びながら「失礼ですが全部お読みになるんですか」と尋ねたところ「いや、たぶん読まないけれどね。こんな美しい本が捨てられてしまうと思うと愛おしくてね」と自転車に積んで行かれたということだった。

夏目漱石全集は素晴らしい人に買い取られた。

手作りおもちゃ

野村 時男

手作りおもちゃは、事前の部品作りから始まる。

9 月 16 日、鵠沼公民館で「輪ゴム鉄砲部品作り」から始まり、9 月 24 日には長谷川工房で「絵付けコマ」と「竹笛」の部品作りをした。各々、10 名が参加して、目標の部品数が出来た。

10 月 7 日、会場である第４談話室に部品、道具を持ち込み、設営をした。

10 月 19 日いよいよ本番。毎回「お客さんが来てくれるかなぁ。」と心配するが、今回も列が出来る程来てくれた。子供たちで、お父さんお母さんとで、ジジババとで来る子供たち。各々のコーナーの探求さんは忙しい。

輪ゴム鉄砲を作った子供達が早速、的当てに挑んでいる。的に当て、ランプが点灯した。誇らしげな笑顔。２才の子が的に当たらないとパパが代わって的を狙い、見事に当り、満足気なパパの笑顔。

絵付けコマコーナーでは、娘と一緒に座って絵付けをしていたお母さん。出来上がりを見せてもらうと、何と素晴らしい絵が書かれていた。(写真参照)。「私は、美大出なの。」と打ち明けくれた。「来年の見本に、１枚絵付けをして頂けますか。」とお願いした。来年が楽しみだ。

竹笛コーナーでは、吹き口を取り付けて、「ピーピーピー」といい音色が出ると、楽しげに、持って出ていった。公民館のあちこちで、「ピーピーピー」と竹笛が鳴っている。今年も楽しいひと時が過ごせた。

手作りおもちゃの皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

災害展示

柳田 敏雄

昨年に引き続き災害関連の展示をするならと部会で検討を重ねた結果、昨年と同じテーマだが、災害時に誰もが直面する「トイレ問題」に落ち着いた。

地震・津波・洪水等の発災後、家も潰れずに生活を継続出来る状態なら、避難生活は避難所ではなく自宅で続け、慣れている自宅のトイレを使いたいと思うのが皆さんの願いではないでしょうか。

パネルの絵の作成は小山さんが担当、A3 サイズ 28 枚の印刷も昨年同様に小山さん、塩川さんと共にすったもんだの末に印刷、鵠沼郷土資料展示室のご厚意で耐用性に富んだラミネート版で覆い 3 分割にしてピン止めで展示した。

ちょうどパネルを作成している時期に千葉県に多大な災害を与えた台風 15 号、続いて町田市をかすめた 19 号と連続して暴風雨の来襲を受け、洪水浸水想定区域の方々に危険レベル４の全員避難勧告が発令された。

鵠沼地区を挟む境川と引地川の河川の水位をネット上で確認することができるので、1 時間毎の水位をグラフ化し今回のトイレ災害展示の横に展示した。

台風 19 号の避難者は藤沢市で 4600 名を越し、鵠沼公民館にも 120 名の方が避難したとのこと。

災害展示に立ち止まり説明を聞いて頂いた方が昨年より何倍も多かったのは、直近の洪水避難勧告への対応に不安を感じた方が多かったからと思われる。

なお、自治連の要請で 10 月 26 日の鵠南小学校で行われた鵠沼地区総合防災訓練の展示に今回のパネルが使われ、地域貢献に少しでも役立ったことは幸いである。

展示の実現に携わって頂いた皆さん、有難うございました。

ヤングブラザーズ公演

池田 修

10 月 20 日（日）14:05～ 参加者 22 名（内ゲスト 8、先生 3）

ヤングブラザーズは総勢 26 人のうち、3 人が休会中で、公民館まつり公演の最低音パートのベースは 3 人。他のパートの半分の人数に減って、危機的状況。さはさりながら、精鋭 3 人は稽古量と持っているものの確かさで人的劣勢を十分カバー、存在感を示した。

メインの楽曲「鶴」は、異国に散ったロシア兵の父親が、息子の魂が鶴に昇華・変身して季節とともに列を組んで故郷に帰ってくるのを待つ、感動的な鎮魂歌。シンプルでモノローグ風なメロディラインに、バックの高音のハミングが絶妙に絡みながら進む。切々と訴えるものは、聴衆にも伝わったはず。

「虹と雪のバラード」（トワエモアの札幌冬季五輪の曲）＋「いつでも夢を」（吉永小百合、橋幸夫の青春歌謡）のメドレーは、大半の聴衆が 20 歳代だった若き日のあの日あの頃を呼び起こすのを狙った？せいか、その効果絶大。会場が一気に若やいだように感じた。

都合 7 曲。エンディング曲「今日のひととき」のサヨナラ、サヨナラが始まると、アンコール！の掛け声がそこかしこ。それではと事前に準備した「高原列車は行く」を会場のみなさんと唱和、気持ち良く午後 2 時からのトリを取らせてもらった。親睦・研鑽部門からの唯一の出場のヤンブラへのご支援に感謝します。

囲碁・将棋コーナー

吉原 正夫

前日の天気予報では午前中は雨模様のこと、客の出足を心配していたのですが、クラブのメンバーの普段の行いが良いせいか危惧することなく初日を迎えた。六面の盤がいっぱいで順番待ちという嬉しい悲鳴（スタッフ全員が相手）。中学生の姉と小学生の弟が親の応援を借りながら駒を動かしている姿はなんとも微笑ましい。姉の方は他の子供達と今度は勝ちたいと熱心に指している。初めて駒を持つ（動かしかたがわからない）女子中学生がバイブルを見ながら“難しい！”を連発・・・来月のルームに顔を出してくれることを期待しましょう。年配の方も多く参加して頂き、スタッフと勝った負けたと言いながら感想戦を交えるなど和気藹藹と楽しい時間を過ごしました。2 日間を通してリピーターが大勢参加してくださいました。囲碁同好会のメンバーも仲間達と楽しく囲んでいました。

焼きいも販売

山田 聰

今秋も恒例の公民館祭りが行われ、皆さまのご協力のもと、にわか焼きいも屋を開業、無事に終了できました。ここに報告します。販売目標は例年通りいも 200kg 40 ケース。初日の 19 日（土）は予報では昼頃まで雨との事で心配しましたが、早くも 7 時頃には雨があがり、幸先きよくスタートがきれそうな予感。8 時頃にはお手伝いして下さる 5 名が倉庫に集まり、早速重い釜、付属品、砂利等を台車に積んで運ぶこと 4 回。同時にまき割りや煙でご近所のテントに迷惑がかからない様ビニールシートで養生し、ようやくスタンバイ OK。皆さまの協力のもと、いよいよ焼きいも屋開店となりました。嬉しいことに焼きいもは 2 日とも焼きあがるそばから完売の盛況、初日 4 釜、2 日目 3 釜の売上合計 720 本、本当にうれしいことでした。ところで、焼きいもは後片付けが大変です。釜が冷めるのを待って丁寧に洗い、台車に積んで、倉庫に戻してようやく完了です。

皆さまのお力添えと、毎年楽しみにして来てくださる多くの方々の笑顔に、心から感謝申し上げます。今年もいろいろ有難うございました。そして又来年も、どうぞよろしくお願いいたします。

２０２０年　年男登場

年頭に当たり、今年の年男の抱負を投稿していただきました。子年生まれは７人です。

年男の記　私の余命はいくつ

磯川 道夫

ふとこの頃思う。「私はいつまで生きているんだろうな」と。あと二月足らずで 84 歳になる。最近の日本人男性の平均年齢は 81.3 歳だそうだがそれをとっくに上回っている。

「くぐひ」に年男の記を書くのも 3 回目になる。

1 回目は、定年退職を迎え、「さあ一日中自分のものになった時間を大切にしよう」と張り切っている。2 回目では「年取ったなあ」と考えている。３回目は上記のように「いつまで生きてるんだろう」と我ながら不思議な気分に浸っている。

私の生まれた翌日、あの忌まわしい二・二六事件が起きている。その一方、ベルリンオリンピックで前畑秀子が 100 メートル平泳ぎで金メダルを獲得し、日本中を沸かせた。

今年は二度目の東京オリンピックが開催される。国際政治がそれほど平穏とは思えない昨今だが、東京オリンピックを楽しみ、いま、地球から 3 億 4000 万㎞の宇宙の彼方にいる「小惑星探査機はやぶさ 2」の年末の帰還を待ちながら今年も生きていたい。

八十歳代で思うこと

伊藤 勲

今元気でいるのは 50 歳まで仕事だけで、何もしていなかったが、老後を考えて何かしようと思い、湘南平を歩いてみたら結構楽しかったのが山歩きの始まりです。

その後継続的に山歩きを続け、深田久弥の日本百名山を 47 座程登りました。山歩きは草花を眺めながらの登り下り、山頂からの眺望と楽しみが一杯です。

この山歩きだけでは退職後暇になるなと思い「くげぬま探求クラブ」に入会し、いくつかの部会に参加しています。この二つが老後まで元気でいられる要因であると思っています。

先輩から 80 歳代になると年々加齢が良くわかるようになると言われていましたが、70 歳代までは全く考えられませんでした。しかし今はやることが遅くなり、歩くのも遅く、バランス感覚が悪くなり、4、5 年前に山歩きを止めたのは正解で、先輩の忠告が良くわかるようになりました。

健康にとっておしゃべりは重要ですが、男性は女性に比べておしゃべりが苦手で、探求クラブ入会はそれの手助けになっています。

山歩きと探求クラブ入会の二つが現在元気継続の秘訣だと思っています。